



学校キャラクター「たちばにゃん」



「輝け！橘っ子」通信

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

大変寒い日が続いていますが、朝の登校時には、心がほっとあたたまるような子どもたちの姿を見かけます。本日、道路をはさんで歩道橋を渡ってくる友だちと「一緒に桜坂を上って登校したい」と、わざわざ自分も歩道橋を駆け上がり、橋の上で「おはよう」と声をかける1年生の姿がありました。また、遠くから歩いてきた1年生が5年生を見つけて駆け寄り、5年生が自然に手を差し出し、二人で手をつないで楽しそうに話しながら桜坂を上っていく様子も見られました。寒さが身にしみる季節ですが、誰かと一緒に歩く桜坂の道は、心まであたたかくしてくれるようです。私たち学校も、そんな子どもたちに寄り添いながら、あたたかな歩みを重ねていきたいと思えます。

5年生、こどもセンターの子どもたちと交流！

1月23日(金)、5年生の子どもたちが橘こどもセンターを訪問し、防災紙芝居や防災クイズ、学校紹介やゲームをして、センターの子どもたちと楽しく交流しました。橘小学校の5年生は毎年この時期に、こどもセンターにお邪魔してもらいセンターの子どもたちと交流を深めています。4月に橘小学校に入学する園児さんに橘小学校に親しみを感じてもらうこと、防災に関する意識を互いに高め合うことなどを目的としています。5年生の子どもたちはこの活動を通して、一回り大きく成長します。この日も、司会進行やゲーム・クイズの説明、手話付きの歌の披露、プレゼントの贈呈など、すべて子どもたちの力でスムーズにやり遂げることができました。特に「だるまさんがころんだ」は大盛り上がりで、センターの子どもたちの笑顔やはしゃぎぶりに、5年生の子どもたちも満足そうな笑顔を見せていました。帰り際には、一緒に遊んだ子どもたちが駆け寄り、「バイバイ!」「またきてね!」と5年生の子どもたちにハイタッチをしてきていました。5年生の子どもたちが、この経験を通して得た自信と優しさを力に、6年生へ、そしてその先へとさらに大きく成長していく姿が今から楽しみです。



5年生とセンターの子どもたちが互いに自己紹介。



防災紙芝居の読み聞かせと防災クイズ。



リーダーとジャンケンをして負けたら新聞紙を半分折っていくよ。



ジャンケン列車。負けたら相手チームの後ろにつよ。長い列車になったね。

情報モラル教室を実施しました！

1月21日(水)、徳島産業推進機構より講師先生を迎え、6年生の子どもたちを対象に、情報モラル教室を実施しました。橘小学校では、毎年この時期に、中学校進学を控えた6年生を対象に情報モラル教室を実施しています。授業ではまず、「情報モラルとは思いやりと責任をもって情報を扱うこと」ということを教えていただきました。また、インターネットのよさと危険な点、SNSで加害者にも被害者にもならないために気をつけること、ゲームやスマホの依存症にならないように使う方のルールを家族と話し合っ決めておくことなどについて教えていただきました。正しい知識をもち、情報モラルを守って、スマートフォンやインターネットを利用してほしいと思えます。



「思いやりと責任をもって情報を発信することが大切です。」



「スマホやタブレットを使う時間が長いので気をつけます。」

なわとび教室を実施しました！

1月26日(月)・27日(火)の2日間にわたり、「日本なわとびアカデミー」から講師の先生をお招きし、低・中・高学年それぞれの児童を対象に、なわとび教室を実施しました。講師の「まっちゃん」こと粕尾先生は、なわとび競技で日本やアジアのチャンピオンに輝いた実績を持ち、アメリカの「シルク・ドゥ・ソレイユ」では、なわとびパフォーマーとしても活躍された方です。授業では、「なわの持ち方はリモコンを持つように」「跳んでいるときは一点を見つめる」「回数を数えながら跳ぶ」といった、なわとびのコツを楽しく、わかりやすく教えてくださいました。子どもたちは、先生の興味を引くトーク的確な指導に引き込まれ、目に見えて技術が向上していく様子が見られました。この経験をきっかけに、これからもなわとびに親しみ、体を動かす楽しさを感じてくれることを願っています。



講師先生のデモンストレーション。



なわとびのショートタイムを満喫。

2年生、防災絵本完成！

2年生が防災絵本を完成させました。タイトルは「橘町ぼうさいこりしまま」です。シマエナガをモデルにした防災キャラクター「しまま」が、地震発生後、防災公園までセンターの子どもたちと一緒に避難するというストーリーです。参観日に紹介します。乞うご期待!



10秒間で20回以上跳んでみよう。



なわとびジャンケンを楽しむ低学年。